



社会福祉法人 京都障害者福祉センター

令和5年度第3回理事会が開催されました。

令和5年度第3回理事会が、理事、監事出席の下、7月20日（木）午前10時から、洛南身体障害者福祉会館において、開催されました。

理事会では、評議員の辞任に伴う評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について、苦情解決のための第三者委員の委嘱について、原案どおり承認されました。

第三者委員には、6月6日付けで辞任された佐治俊彦前第三者委員の後任として、現評議員の浅野義孝様が選任されました。



◎審議事項

- 第1号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について
- 第2号議案 苦情解決のための第三者委員の委嘱について

令和5年7月評議員選任・解任委員会が開催されました。

令和5年7月評議員選任・解任委員会が、評議員選任・解任委員、理事長、常務理事出席の下、7月28日（金）午前10時から、洛南身体障害者福祉会館において開催され、原案どおり承認されました。

新しい評議員には、6月6日付けで辞任された佐治俊彦前評議員の後任として、白旗文雄様が選任されました。

白旗様は、現在社会福祉法人の理事長、学校法人理事長のほか、3つの社会福祉法人の評議員、理事、監事を務めておられ、福祉・教育分野並びに社会福祉法人の経営について豊富な識見をお持ちの方です。



(本部事務局)

右京エリアTOPICS 【太秦障害者デイサービスセンター】

デイサービス自治会1日行事を開催しました。

7月29日（土）、太秦デイサービス利用者さんの自治会企画による1日行事を開催しました。何日も前から自治会メンバーで話し合い、みんなに楽しんでもらえる企画を考え、壁面飾りや催し物の確認作業に取り組んでおられました。

今回はキッチンカーGori's Kitchen（ゴリーズキッチン）さんをお呼びして、窯で焼いた本格的ピザをみんなで頂きました。

催し物では手作りのカードゲームやガラポン抽選会が開かれ大盛況でした。

午後からは老人福祉センター有志によるマジックショーや、シンガーソングライター三島邦夫氏によるステージを楽しみました。マジックに驚いたり、みんなで歌ったりといつもと違う雰囲気を楽しんでおられました。



（太秦障害者デイサービスセンター：茗荷 真）

社会貢献活動の受け入れにより 京都拘置所から感謝状を頂きました

昨年度、京都拘置所より受刑者が行う※社会貢献作業の受入施設を探しているため受け入れ先になって欲しいという依頼があり伏見授産所としても社会貢献活動の一環として受け入れることを承諾し、令和4年4月1日付で協定書を締結しました。

内容としては京都拘置所の受刑者が社会に復帰する前に社会貢献作業を行うというもの。伏見授産所の利用者が通所に使用する送迎車を洗車してもらうために場所と機会を提供致しました。

今回の活動は京都拘置所としても初めての試みであり、実際の活動日まで幾度となく打ち合わせを重ねました。

当日は拘置所から6人の職員が来られ、その職員が見守る中受刑者の方には丁寧に洗車をして頂き無事活動を終えることが出来ました。

今回、その功績を認められ感謝状を頂く運びとなり、京都拘置所長はじめ3名の職員の方が伏見授産所に来所され授与式を開催、感謝状と記念品を頂戴致しました。

授与式の後、拘置所の方々と意見交換を行い、今年度も引き続き協定作業所として受刑者の受け入れをして欲しいという依頼と拘置所の職員の研修先として受け入れてほしいという依頼を頂きました。

拘置所には知的障がい・発達障がいをお持ちの受刑者の方もおり、職員の障がいに対する知識や理解不足のため適切な処遇・指導に悩む事例もあり、障がい者理解を図っていくためにも是非、職員の研修をお願いしたいとのことでした。

研修を受け入れることで伏見授産所としても新たな気づき生まれ、さらなる社会貢献活動にもなることから快諾し、今後は関係者とも協力しながら京都拘置所との連携を深めていきたいと思えます。

※ 拘置所における社会貢献作業とは…

労務を提供する作業であって、社会に貢献していることを受刑者が実感することにより、その改善更生及び円滑な社会復帰に資すると刑事施設の長が特に認めるもの。

(伏見障害者授産所：大槻 晶彦)



京都橘大学 まちづくり研究会との初コラボ！！

やましな学園生活介護事業では、7月15日（土）土曜日開所のプログラムで京都橘大学まちづくり研究会の学生と大型絵画制作を実施しました。

きっかけは、山科区社会福祉協議会主催の昨年度のボランティア講座です。今年2月には消ゴム印を使った絵葉書ワークショップを開催しました。学生との交流でご利用者は楽しいひと時を過ごす事が出来ました。



そして、新年度が始まり、ご利用者に楽しんでもらいたいプログラムを考えている中で若い学生と何かを制作してご利用者に、日常には無い新しい刺激を味わって欲しいとの思いで、まちづくり研究会にコラボを打診し大型絵画の協同制作に繋がりました。

今回の大型絵画のテーマは、「山科の色」です。山科川の色、山科の町から見える景色、山科のキャラクターもてなす君の色など、山科に関わる色をモチーフにしてペンキや筆を使って、ご利用者16名と学生8名の思いが詰まった作品が出来上がりました。

最後に学生が挨拶するとご利用者から「楽しかった」「また来てね」と温かい言葉がかけられました。

今回の作品は、11月5日（日）山科エリアの秋まつりや11月11日（土）12日（日）京都橘大学の学園祭に展示予定なので楽しみにしてください。

京都橘大学まちづくり研究会の紹介

京都・山科で地域活性化活動を行う研究会「まち研」です。

活動歴10年超！ 約40名、主に週2回の頻度で活動中です！！



（やましな学園 生活介護：小西 敦士）

法人の今後のために、支援センターの立場で思うこと ～7/19の法人研修を受けて～

支援センター（らくとう・らくなん）は、京都市の委託事業を受託し、委託費を受けて運営しています。支援センターは収益を数字で得ることは難しいところで、相談をたくさん受けても委託費は変わりません。決まった委託費の中で、市の委託事業を実践することが役目となります。また法人のためにできることを同じく考えないといけないと、今回の研修を受けて思ったところです。

支援センターが法人のために提供できるものは何かというと、外部の情報です。

支援センターに配置されている相談員は、地域にお住いの利用者や家族からの相談を受けて、相談者の方に必要な情報やサービス利用の案内をしています（他の業務もありますが長くなりますので割愛します）。その際必要なのはより多くの情報です。地域の事業所のパンフレットやホームページを印刷してお渡しし、行政等から聞き取った情報を伝えるなど、出来る限り複数の多くの情報を伝えるようにしています。

支援センターは特定の事業所を斡旋するということではできません。複数の選択肢を提示し、そこから自身で決めてもらう＝自己決定を促す、ということをししないと、「この施設しか紹介してくれなかった」ということになりかねません。

数多くない事業については、ここしか空きがないようです、というような案内をすることはあります。それがらくとうの担当する東部圏域（東山・山科・伏見醍醐）だと、生活介護です。比較すると就労継続B型はあまりに多すぎてこのギャップは何だろうと個人的には思うところです。

生活介護は事業所数がB型と比べると増え幅がせまく、山科では選択肢が少ないため他区の事業所を利用されている方も少なくありません。

以上のことから2点あげられます

- ・生活介護は地域のニーズがある（特に東部圏域）
- ・入浴のニーズはもっと高い！！（お風呂だけでも探している方がいらっしゃいます）

最後にもう一つ、生き方が多様化している現在、障害のある方の生き方も多様化しているというところでは、枠にはまった考え方では通用しないと、相談を受けていて感じます。そのため日中通所施設を利用されるご利用者の希望も一人ひとり違います。

障害の見え方、生き方、希望される支援内容が多様だと、受け入れる施設としては「むずかしい人なのではないか」と思われるかもしれません。

ここで大事なポイントは個別支援計画です。

個別性を重視し、契約時にアセスメントをしっかりととり、当施設ではこのような個別支援計画の内容で支援出来ます、とより具体的な内容で示すことが重要だと思います。言い換えると、この個別支援計画で記載している内容以外はこちらではできません、となります。どの施設もすべてのニーズに答えられないと思います。最初に現状の限界を示しておく、というのは施設や施設職員を守るうえで必要な考え方なのではないでしょうか。同時にニーズを満たすための努力を示すことも大事です。

支援センターは外部からの情報が多く入るところではありますが、法人の施設の状況をよくわかっていないところがあります。法人の皆さんがどのような情報が必要かというのは、教えていただかないとわかりません。他の機関に聞きにくい事など、遠慮なく、らくとう&らくなんに連絡をいただけたらその時伝えられる情報を伝えたいと思いますし、こんな資源が足りないとか、こんな事業が地域に足りないのではないかと教えていただくと、支援センターが事務局をしている自立支援協議会にも施設からの要望としてあげることができます。

今回の研修に参加して、皆さんと一緒により働きやすい法人を作っていきたいと思い、このようなニュースにしました。またご意見等いただけると嬉しいです。

（東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：山下 笑子）

就労支援事業所では、企業の方からの仕事の発注をお受けしています。
掲載のない業務でも、依頼したい仕事等がありましたら御相談下さい。

京都市洛南身体障害者福祉会館

TEL 075-691-2468 FAX 075-691-9226

受注可能役務

一般企業や他の就労系事業所から委託を受けた、内職作業を中心とした軽作業全般。箱折り、各種紙製品加工、雑貨組立、各種シール貼り、食品加工等

京都市山科障害者授産所

TEL 075-591-8771 FAX 075-591-8772

受注可能役務

印刷（名刺、冊子、封筒、パンフレット、文字入力、編集、製本）下請作業（紙加工、ネジの加工、封入封緘など）館内清掃

受注可能商品

オリジナル商品製作（シルクスクリーンプリントによるエコバックなど布小物）

京都市洛南障害者授産所

TEL 075-671-8439 FAX 075-661-0894

受注可能役務

印刷全般、製本加工、アンケート入力、データ入力、テープ起こし、DM等封入・封緘・仕分け、紙加工（箱折）、部品組立、シール貼り等軽作業、講師派遣

受注可能商品

オリジナルカレンダー

京都市やましな学園

TEL 075-591-8841 FAX 075-591-8842

受注可能役務

清掃、除草、食器洗浄、ポスティング、古紙リサイクル、各種下請け業務（100円均一等の商材加工、チラシ折り、箱折り）

受注可能商品

やさいも

京都市伏見障害者授産所

TEL 075-603-1291 FAX 075-603-1292

受注可能役務

印刷全般、アンケート入力集計、データ入力、封入・封緘、清掃、アルミ缶回収、菓子箱組立、各種袋詰、検品・仕分け、その他下請け業務

受注可能商品

和柄を使ったヘアアクセサリ（ヘアピン・ヘアゴム・シュシュ等）布を使った小物製品、メモ・カード等の紙製品、ポップコーン出張販売

京都市だいが学園

TEL 075-571-7216 FAX 075-571-7217

受注可能役務

各種下請け業務（チラシ封入、100円均一商材加工、お菓子の袋詰め等）

受注可能商品

ドーナツ、焼きドーナツ、パウンドケーキ、パンの卸販売、出向販売及び一部商品のOEM提供

京都いたはし学園

TEL 075-605-4800 FAX 075-605-4801

受注可能役務

清掃、除草、箱折、各種袋詰などの下請け作業

受注可能商品

各種パン、クッキー・ラスク・ケーキなどの焼き菓子

京都市うずまさ学園

TEL 075-873-5353 FAX 075-864-4753

受注可能役務

各種袋入れ、箱折、封入封緘、その他軽作業

受注可能商品

パン、シフォンケーキ、クッキー、フィナンシェなどの焼き菓子